

# ひろしま「山の日」県民の集いに参加してきました。

8月8日(日) 広島遊学の森(広島森林公園) 鷹の条山

テーマ:「さくら咲く森づくり」桜救出大作戦

報告: 堺 次朗



サクラに沢山の光が当たるように整備



ソーシャルディスタンスで行われた開会式

参加者全員が定刻、森林公園管理棟横のテラスに集合。もりメイト倶楽部山本理事長の司会により開会式が行われました。見勢井顧問から「山の日」の発足の経緯や意義についての説明の後、本日の整備作業のメインテーマである『桜の救出作戦』についての説明も合わせて行われました。

続いて広島市からの来賓の挨拶の後、担当するエリアごとに班分けを行い、作業場所は登山用のレール沿いの地域で、山の上からC班、B班、A班の順で担当することになりました。

私はC班になり、一般参加の親子連れが参加されていたので、安全を考え小径木の除伐を中心に行いました。午前中の2時間余りの作業でしたが、担当エリアは、作業前に比べて見違えるほど明るい森になりました。B班担当のエリアには直径50センチくらいのコナラの木を伐倒する必要がありましたが、熟練のもりメイト倶楽部の絶妙のワイヤーワークで目標位置に正確に伐倒することができました。伐倒木の整理は、閉会式後、もりメイト倶楽部の有志により行われました。ご苦労さまでした。

猛暑の中での作業終了後、主催者より各人にアイスクリームが無償で提供され参加者一同大感謝！ありがとうございました。

山の日 の整備作業には子ども2名を含め22名の参加がありました。当初は6名しか応募が無く、メールや電話で連絡して参加を募ったところ、沢山の方々が応えて下さりご参加いただきました。

伐倒予定は「ナラ枯れ」被害となっている「カシノナガキクイムシ」の入った50cm以上のコナラ。

このコナラは、枝が十分に張っており、準備作業・伐倒・事後処理と大変苦労しましたが、富田さんをリーダーとする沢山の方々に協力いただき、午後からも6名で作業を行ない、当初の目的を達成することができました。本当に有難うございました。

「森林公園からは人集め・技術力・統率力が素晴らしい」と、お礼の言葉をいただきました。《見勢井記》



後輩にチェーンソーを指導する富田さん



子ども達も一生懸命木を伐り整備しました。